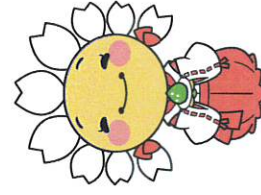


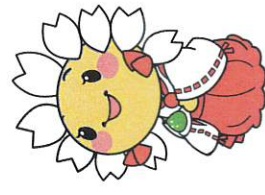
まぜってみっぺしコーナー 「活動報告」

令和4年も「コロナ」に負けず 活動開始!

「大日向タブレットのつどい」の皆様



令和4年も「タブレット」で脳をピカピカに磨きます!



生活支援コーディネーター 佐藤 雅子

「参加者募集！」

～認知症になっても安心して暮らせる地域づくり～のために

私たちと一緒に、お住まいの地域に「カフェ」を作りませんか？

身近な病気にもかかわらず、知っているようで知らない「認知症」
いろいろな原因で脳の働きが悪くなるために様々な障害が起こって、
生活する上でいろいろな困りごとがでてきます。

本人の不安や戸惑いはもちろん、一緒に暮らす家族も不安になった
りストレスを感じてしまうこととなります。

“困った時、苦しい時”にお互いの悩みを話してみたり、共感する
ことができる場所が身近にあったら。。。。。
今年も、そんな「カフェ」を地域の身近な場所に作りたいと考えて
います。

「コロナ禍」ではありますが、準備を進めるには絶対の期間と捉え
て地域の皆様と共に作り上げたいと思います。

是非、一緒に活動してください。

地域の皆様のご参加をお待ちしております。

詳しいことのお問い合わせは

「西部包括支援センター」

☎367-0414でお待ちしております。



西部地区事業所連絡会

1月は緑ヶ丘病院 菊地相談員、
塩釜市立病院 小川相談員を
お招きし、意見交換会を行
いました。



地域ケア会議

1月はもの忘れが徐々に進んで
きている高齢者世帯が、地域で
安全に生活を続けるための地域
でのかかわりについて考えまし
た。



2月	《認知症サポーター養成講座》
3月の予定	

《昔語りの会》

令和4年2月22日 (火) 14:00～15:30

3月23日 (木) 14:00～15:30

冬場は日が短いので時間は14:00～15:30といたします。

※開催場所はどちらも『西部包括』支援センターです。

イートース通信

シリーズ
権利擁護⑭

『セルフネグレクトについて』

セルフネグレクトとは、飲食や体調管理、最低限の衛生状態の保持、金銭
の管理などの行為をしない、あるいは、する能力が無いため、安全や健康が
脅かされる状態を示します。これは、本人の意思による場合と、認知症等で
判断力が低下している場合の両方を含みます。

(塩竈市高齢者虐待防止マニュアルより抜粋)

<セルフネグレクトの具体例>

- 物事や自分の周囲に関して極度に無関心になる
- 何を聞いても「いいよいいよ」と言って遠慮をし、諦めの態度が
見られる
- 室内や住居の外にゴミがあふれていたり、異臭がする、虫が湧いて
いる状態 (ゴミ屋敷の状態)
- 入浴しておらず異臭がする。髪が伸び放題だったり、皮膚が汚れて
いる/等

防止法にはセルフネグレクトの規定はありませんが、虐待に準ずる対応を
行う必要があります。社会の中で救助を自分から発信できず、支援されない
という観点からは、社会からの「放任・放棄」ネグレクトとも考えられるか
らです。

本人が介入を拒否している場合は、出会ったば
かりの専門職だけでは対応が難しく、地域住民の
方々の理解、協力も必要です。

地域包括支援センターは福祉の総合相談窓口です。

いつでもお気軽にご連絡ください。

社会福祉士 伊藤 信子



蛙のゴム靴/宮沢賢治

※「西部包括新聞」のバックナンバーをご希望の方は、ご連絡ください。